

		座長	A (202教室)			座長	B (212教室)			座長	C (222教室)			座長	D (223教室)					
9:30~ 10:00	A1	横田 茂永 (静岡県立農林環境 専門職大 学短期大 学部)	大和田 興・辻 岳史 (国立環境 研究所)	「マイナー・サブシステム」と 「自給的農業」の今日的意義 —生業研究の整理をもとに—	B1		上柿 崇英 (大 阪公立大学)	「環境加速主義」についての考察 —「エコ」なき時代の環境思想をめぐって—	C1		張 榕根多仁 (東京農工大 学)	ESD Implementation Strategies of the ASAZA Fund in Japanese Elementary Schools and Their Implications for Inner Mongolia.	D1	高橋 宏之 (千葉市動 物公園)	村井 伸二 (玉 川大学TAPセン ター)	自然観察会を通じた地域コミュニティ人 材育成への一考察 —任意サークルからNPO法人までの発展 経緯と正統的周辺参加の関連性に着目し て—				
10:00~ 10:30	A2		数納 朗・阿部 由加子 (アグロ カネショウ株式 会社)	地域管理における農菜の果たす役割 に関する一考察 —里山や道路における除草剤散布に 着目して—	B2	片山 善博 (日本福祉 大学)	岡野 一郎 (東 京農工大学)	科学との共生 —システム理論と「科学論の第三の 波」をめぐって—	C2	中川 光弘 (茨城大学 / 東京日野国 際学院)	Shuang Gao, Haisong Nie (東京農工大 学)	Research on the Coupling Coordination between Digital Economy and Total Factor Carbon Productivity of the Chinese Agriculture	D2		武谷 嘉之	地域アイデンティティの形成に関する 一考察 —三木市のみき演劇セミナーの取組を題 材に—				
10:30~ 11:00	A3	WS1	石井 圭一 (代 表)、矢口 芳 生、荒木 和秋、 横田 茂永	有機農業面積100万ha実現への戦略 的方策 ①矢口芳生 (福知山公立大学) 「研 究蓄積の体系的開示と共生農業シ ステムの構築」 ②石井圭一 (東北大学) 「EUの有 機農畜産の展開からみた日本の展 望」 ③荒木和秋 (酪農学園大学) 「有機 畜産の課題と展望」 ④横田茂永 (静岡県立農林環境専門 職大学短期学部) 「有機農畜産物 の定義・認証等の再検証」	B3		笠原 恵美 (東 京農工大学)	エコフェミニズムにおけるヴァンダナ・ シグヴァの再評価 —戦略的母性主義の観点から—	C3		Qingtun Kong, Muzi Li (東京 農工大学)	Climate Change, Mega FTAs, and Commodity Trade: Evidence from RCEP and CPTPP Member Countries	D3		山本 理 (東京 農工大学)	中学・高校の探究活動との連携を活用し た地域博物館による住民の学びの可能性 —山形県大井沢自然博物館の学社連携活 動の事例を踏まえて—				
11:00~ 11:30	A4				B4	植木 美希 (日本獣医 生命科学大 学)	古沢 広祐 (國 學院大學・研究 開発推進機構)	「人新世」時代、共生社会とSDGsをど う展望するか?	C4	桑原 考史 (日本獣医生 命科学大学)	王 旻 (株式会 社フォーモア 海 外企画担当)	災害との共生：進化する軍事組織の災害 救援活動 —中国人民解放軍及び日本自衛隊を例と して—	D4	朝岡 幸彦 (白梅学園 大学)	浅岡 永理 (麻 布大学)	「生物多様性」に関する教育の基礎的検 討 —ユネスコスクールにおける学習内容を 対象として—				
11:30~ 12:00	A5				B5		山中 鹿次 (NPO法人近 畿地域活性ネッ トワーク)	ベーシックインカムは共生社会を阻むの か促進するのか —日本国内でのベーシックインカム提案 の動向と関連して—	C5		白鳥 武 (摂南 大学)	聴覚障がい者たちとの豊かな共生に向け た実践協同デザイン活動報告 —地球共生ワークショップ2024 “White Noise(白色騒音)”~	D5		栞原 智美 (東 京学芸大学附属 高等学校)	共生社会を支える公教育の役割とその可 能性 —野外炊事活動を軸として—				
12:00~ 12:30	A6				B6										D6					
13:00~ 15:00	A7				WS2	高橋 宏之 (代 表)、大和 淳、大倉 茂、 朝岡 幸彦	『動物園における動物の名付けと擬 人化について』 ①高橋宏之 (千葉市動物公園) はじめに「ワークショップ趣旨」 ②川口芳矢 (横浜市緑の協会) 「動物園人が考える動物への名付け と擬人化」 ③芦刈治将 (サンシャイン水族館) 「水族館人が考える動物への名付け と擬人化」 ④演者同士のクロストークならびに 議論 ⑤高橋宏之 (千葉市動物公園) おわりに「まとめ」	B7				C7				D7				